








ボイラー（2号缶）洗缶

件名	ボイラー（2号缶）洗缶				図面No.	1/3
図名	表紙				縮尺	-
業務隊長	管理科長	営繕班長	ボイラー係長	工事企画	管財	作成者
						
陸上自衛隊 都城駐屯地業務隊					令和7年3月14日	

仕様書

- 1 件名：ボイラー（2号缶）洗缶
 2 場所：宮崎県都城市久保原町1-12 陸上自衛隊都城駐屯地 ボイラー室
 3 対象機器：タクマ汎用機械株式会社製 RE-30FⅡ型

- 4 概要：
 (1) ボイラー洗缶 一式
 (2) 付帯作業 一式
 (3) 安全弁点検 一台

- 5 一般事項
 (1) 本仕様書は都城駐屯地で実施する「ボイラー（2号缶）洗缶」に適用する。
 (2) 本役務は本仕様書によるほか、労働安全衛生法、ボイラー及び圧力容器安全規則によるものとする。
 (3) 本役務の実施にあたり、疑義、相違及び不明な事項等が生じた場合は、係官と協議を実施し、その指示に従うものとする。
 (4) 本役務の実施にあたり、安全管理には十分注意して行うものとする。
 (5) 本役務の実施にあたり、作業前後・作業段階ごとにカラー写真を撮影し、作業終了後速やかに写真台帳を整理し、2部係官に提出するものとする。
 (6) 駐屯地内の電気及び水は基本的に使用できない。ただし、係官が使用を認めた場合は、その使用料を受注者が全額負担するものとする。

- 6 特記事項
 (1) ボイラー洗缶作業を実施する現場責任者はボイラー整備士の資格を有する者とし、事前に資格証（免状）の写しを係官に提出し、確認を受けるものとする。
 (2) ボイラー洗缶作業の実施にあたり、作業上の安全には十分注意するものとする。特に換気は換気ファン等を使用し排気が缶内にとどまらないように注意するものとする。
 (3) 洗缶作業にあたっては缶体等に損傷等を与えないように十分注意して実施し、万一損傷等を与えた場合は受注者の責任において原形復旧するとともに、係官に報告するものとする。
 (4) 洗缶作業は炉筒、煙管、前部煙室及び後部煙室を実施するものとする。
 (5) 洗缶作業は次によるほか、製造所の規定によるものとする。

ア 炉筒部

炉筒はディスクサンダー、ブラシ等により、筒内のすず、カーボン等を除去した後、ウエス等により拭き取り、油布等で防錆処理を実施する。

イ 煙管部

煙管はチューブブラシ等により、管内のすず、カーボン等を除去した後ウエス等により拭き、油布等で防錆処理を実施する。

ウ 前部煙室・後部煙室

(7) 煙室の鉄部はディスクサンダー、ブラシ等により、すず、カーボン等を除去した後ウエス等により拭き取り、油布等で防錆処理を実施する。

(イ) 煙室のレンガ及びキャスト部は、ブラシ、掃除機等により、すず等を除去する。

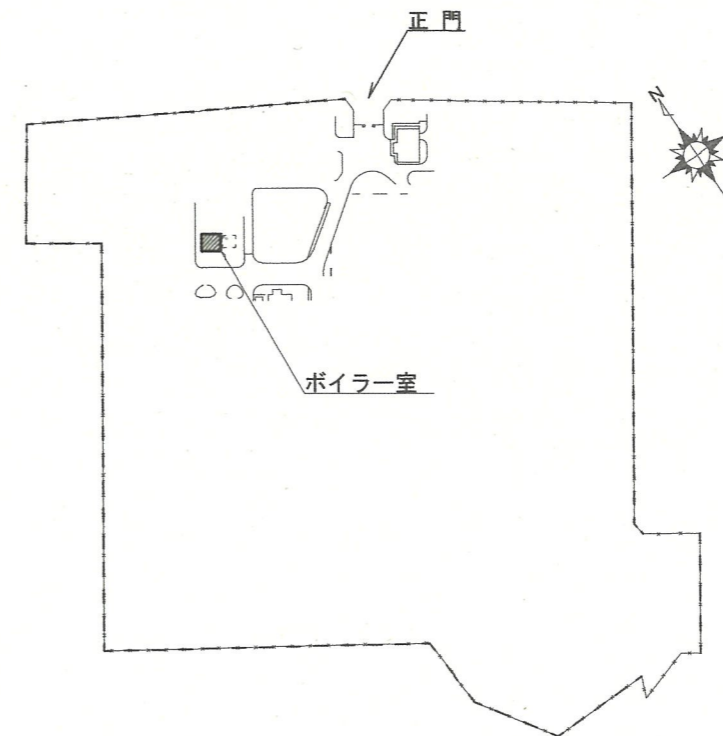
- (6) 点検する安全弁の仕様は、下記のとおりとする。
 福井製作所 型式：SPU(T) 0.98MPa 40A×30Φ 1台
 (7) ボイラー洗缶作業を令和7年5月21日（水）までに完了させるものとする。

7 提出書類

- (1) 受注者は、契約後すみやかに下記書類を係官へ提出するものとする。
 ボイラー整備士資格証（免状）の写し、現場代理人等通知書及び計画工程表
 (2) 受注者は、洗缶作業完了後5月28日（水）までに、安全弁点検完了後2週間以内に下記書類を係官へ提出するものとする。
 作業写真（2部）及び実施工程表



案内図 No Scale

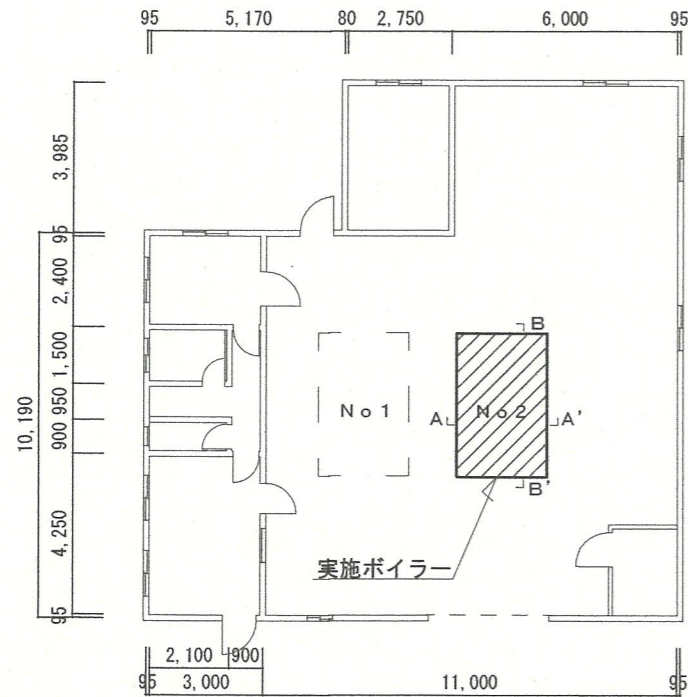


配置図 No Scale

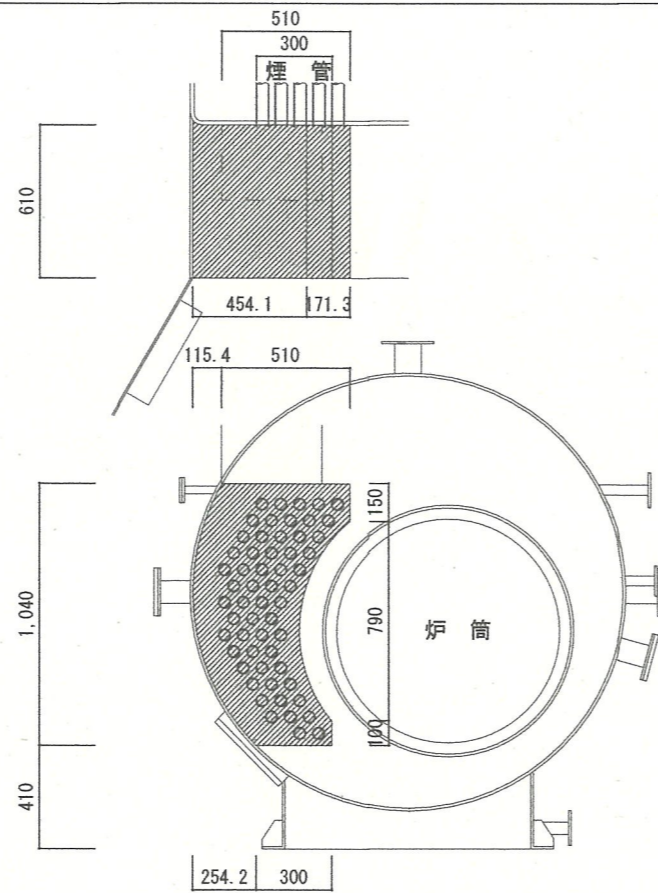
件名	ボイラー（2号缶）洗缶	図面No.	2/3
図名	仕様書	縮尺	図示
陸上自衛隊 都城駐屯地業務隊		令和7年3月14日	

〔凡例〕

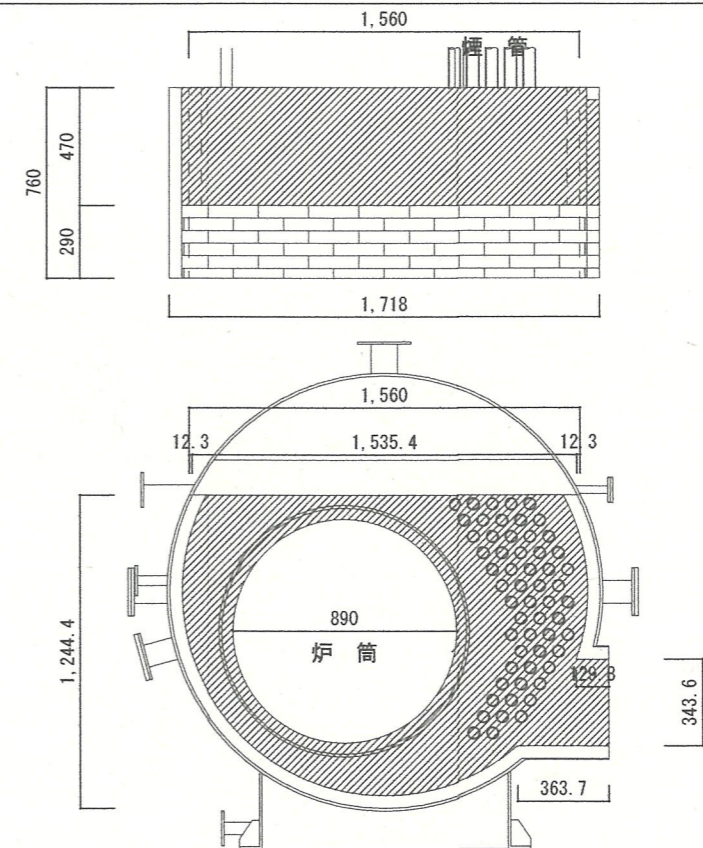
▨ 洗缶実施箇所を示す。



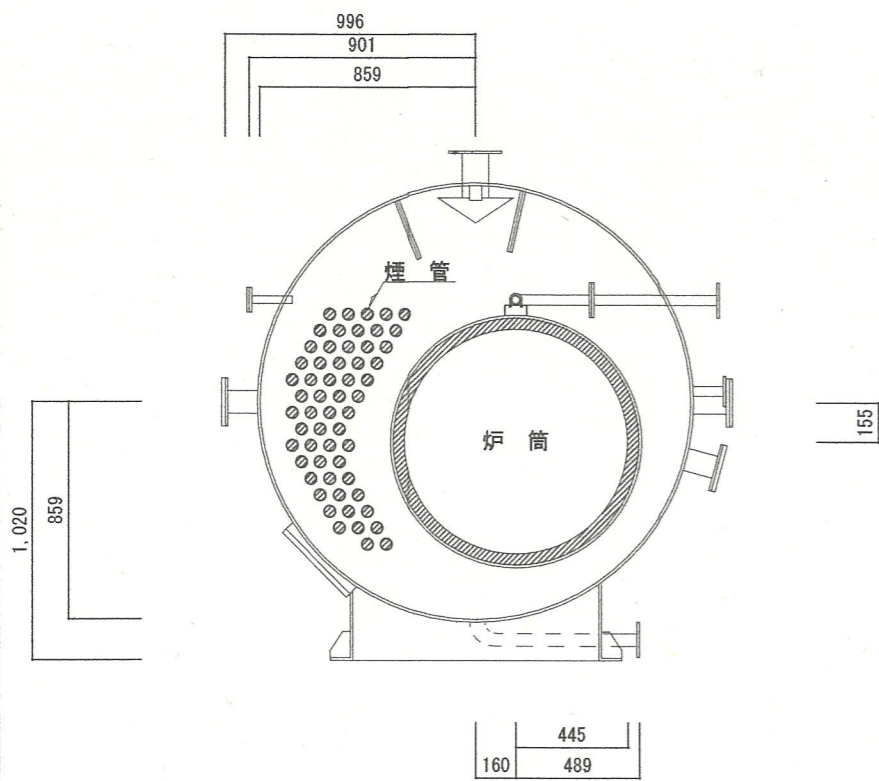
ボイラー室平面図 S=1/200



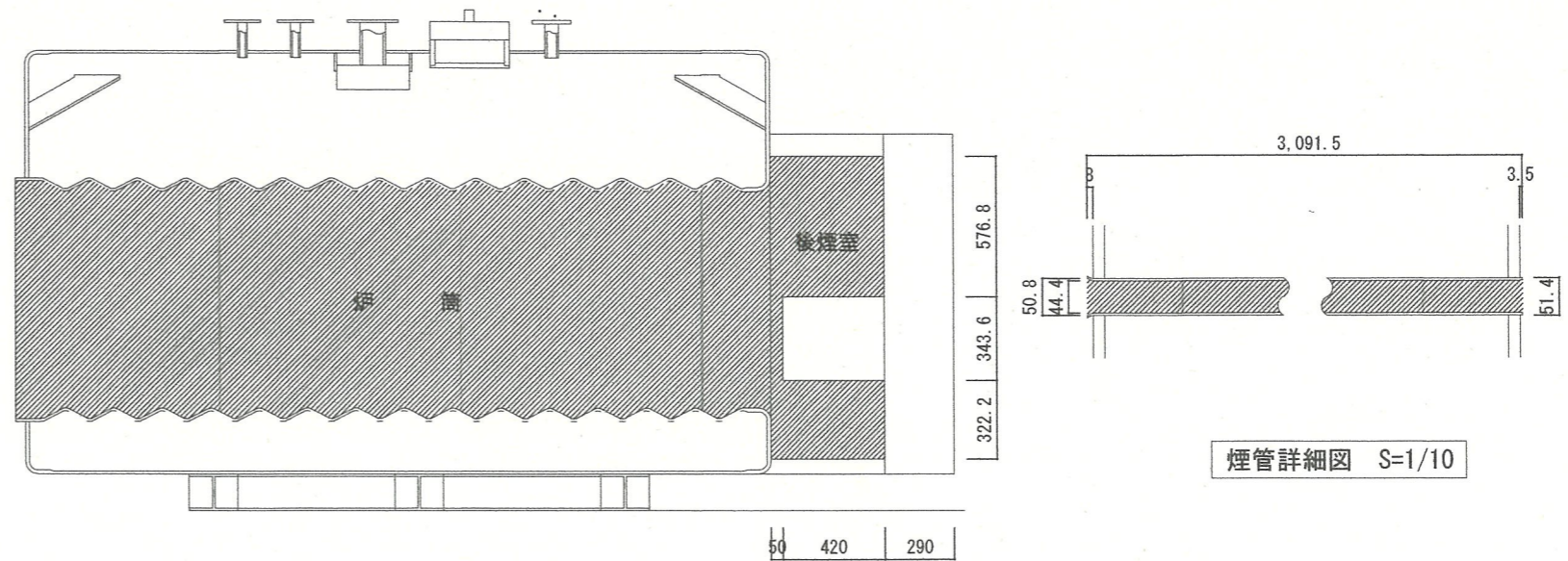
前煙室詳細図 S=1/30



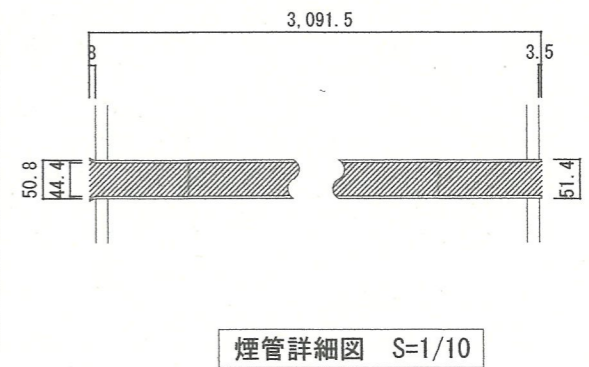
後煙室詳細図 S=1/30



A~A' 断面図 S=1/30



B~B' 断面図 S=1/30



煙管詳細図 S=1/10

件名	ボイラー（2号缶）洗缶	図面No.	3/3
図名	平面図・詳細図・断面図	縮尺	図示
陸上自衛隊 都城駐屯地業務隊		令和7年3月14日	